

事業報告書

第V期（令和2年8月1日～令和3年7月31日）

一般社団法人ハビリスジャパン

第V期（令和2年8月1日～令和3年7月31日）事業報告書

I 法人の概況

1. 設立年月日

平成28年8月1日

2. 定款に定める目的

当法人は、義肢を必要とする子ども達と、様々な障害がある子ども達の社会参加に関わる総合的な支援体制を確立することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 障害のある子ども達の社会参加の支援事業
- (2) リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業
- (3) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業
- (4) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業
- (5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

ハビリス個人会員 143 名、賛助会員 15 社

第V期寄附 企業からの寄附：3 社

個人からの寄附：実人数 15 人（延べ人数 41 人）

※個人からの寄附は、1 回限り場合と毎月の場合があるため、寄附者実人数に加えて、寄附回毎に 1 人とカウントした延べ人数を併記。

5. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー4 階

6. 役員等に関する事項

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
理事長	長野洋	非常勤	
理事	松井秀文	非常勤	
理事	上田啓子	非常勤	弁護士
理事	藤原清香	非常勤	医師
監事	北村浩志	非常勤	税理士
監事	福村圭一	非常勤	

7. 職員（常勤）に関する事項

職員数		前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男子	0 名	0 名	—	—
女子	0 名	0 名	—	—

II 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 障害のある子ども達の社会参加の支援事業

下記 PAFF イベントを計 9 回開催

① 令和 2 年 8 月 8 日: Habilis kids project 「オンライン運動教室」

(協賛: (株)大泉スワロー体育クラブ)

手足に欠損のある子ども達を対象に開催した。運動教室は、毎年、対面で開催しておりオンラインでの開催は初めての試みであったが、運動指導専門員の指導のもと皆でストレッチや体を動かす経験ができた。運動した後は、運動指導専門員への質問コーナーを設け体の動かし方を学んだ。

② 令和 2 年 10 月 10 日: Habilis kids project 「オンラインでパラテコンドー体験」

(協賛: 炫武館)

手足に欠損のある子ども達を対象に、パラテコンドー日本代表の強化指定選手 阿渡健太選手指導のもとオンラインでパラテコンドー教室を開催した。パラテコンドーを初めて体験する子どもが多かったが、子どもたちは阿渡選手の動きを真似しながら、技を学び、パラテコンドーについて知る機会となった。アンケートの結果は、満足度が高かった一方で、“あつという間に終わってしまった” “時間が短かった” との回答が多かった。

③ 令和 3 年度: Habilis kids project 「オンラインでパラテコンドー教室」 1 月-3 月期、4 月-7 月期

令和 3 年 1 月 23 日、令和 3 年 2 月 20 日、令和 3 年 3 月 27 日

(ア) Habilis kids project 「1 月-3 月 オンラインでパラテコンドー教室」

令和 3 年 4 月 24 日、令和 3 年 5 月 22 日、令和 3 年 7 月 3 日

(イ) Habilis kids project 「4 月-7 月 オンラインでパラテコンドー教室」

(協賛: 炫武館、独立行政法人福祉医療機構 [令和 3 年 4 月以降])

手足に欠損のある子ども達を対象に阿渡健太選手指導のもとパラテコンドー教室を 1 ヶ月に 1 回の頻度で、全 3 回、2 クール実施した。「テコンドーの基本動作」と「前蹴り(アプチャギ)」を学んだ。今回初めての試みとして、子どもたちが教室の振り返りを行うことができるよう教室の動画を後日視聴可能できるようにした。子どもたちは課題の技を自宅で撮影し、阿渡選手に提出、阿渡選手は提出動画に対するコメントを振り返りシートに記入し、子ども達に渡した。これにより技の上達を図った。スタッフは、次回の教室に生かすため毎回教室の振り返りを行った。

④ 令和 3 年 3 月 21 日: Habilis kids project 「オンライン運動教室」

(協賛: (株)大泉スワロー体育クラブ)

手足に欠損のある子ども達を対象に、運動教室を開催した。前半は、立松沙希先生による「みんなで踊ろうリズム体操!」後半は立松佳通先生による「おうちで親子体操」を行った。オンラインにより参加者全員が自宅からの参加となったが、運動指導専門員の指導により自分自身のからだのことや使い方、運動の楽しさを知ることができた。

(2) リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業

① 教育セミナー開催

令和2年10月10日：Habilis kids project 「講演：義肢ってなに？」

家族や一般の方、専門職を対象に開催した。当法人の理事であり、東京大学医学部附属病院講師である藤原清香医師の講演会をオンラインで行った。義肢についての話から、本邦での義肢の状況、藤原医師が留学時に知ったことや学んだこと、海外での最新の義手などについて講演していただいた。義肢について学ぶ機会となった。

② 家族交流会での情報交換会

(ア) 令和2年8月8日：Habilis kids project 「オンライン家族会」:

手足に欠損のある子ども達、そのご家族を対象に開催し、一部では専門職への質問コーナー、二部は子ども同士の交流会を行った。アンケートでは、“普段お会いできない会員、先生と話せてよかった” “それぞれの家族の経験や工夫を聞くことができて良かった”などの声があった。

(イ) 令和3年3月21日：Habilis kids project 「オンライン家族交流会」

手足に欠損のある子ども達、そのご家族を対象に開催した。家族同士が交流しやすいよう少人数の2つのグループに分かれて実施した。習い事や学校生活で工夫している点などについての話が多かった。

③ 専用サイト運用

イベントで得られた知見を、専用サイトを通じて広く発信した。アクセス数は約4600であった。

[専用サイトアドレス (<http://habilisjapan.com/habilisjapan>)]

④ ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) の専用アカウントによる情報発信

Facebook、Twitter、ならびにYouTubeの専用アカウントで、イベントで得られた情報を発信することにより、専用サイトへの誘引を行った。令和2年9月に新たにInstagramを開設した。

⑤ マスメディアを通じた情報発信

(ア) 山本篤選手とのパートナーシップ締結 (ユニホームにハビリスのロゴを掲載) に関して

山本篤選手とハビリスジャパンは令和3年4月にパートナーシップを締結した。本件に関する掲載記事は以下の通り。

- ・ マイナビニュース「義足の子どもたちにレガシーを。陸上競技・山本篤のパラリンピアンとしての使命」2021/08/29
- ・ 日刊スポーツ「パラ男子走り幅跳び山本篤4位、自己新6m75 障がいがある子どもを支援」2021/08/28
- ・ 日刊スポーツ「パラ陸上界の第一人者山本篤「もう一歩進んでいくために」決して下を向かず」2021/05/16
- ・ 日刊スポーツ「パラ走り幅跳び山本篤「自分も何か応援することができないか」胸に無料ロゴ」2021/04/26

※山本選手とのパートナーシップに関連して、共同通信、スポーツニッポン新聞社より、藤原理事と野口事務局長が取材を受けたが、記事掲載日は未定である。

(イ) 美馬アンナさんと藤原理事との対談記事 (Hint-Pot)

先天性上肢形成不全児の母である、タレントの美馬アンナさんと藤原理事との対談記事が、女性向け情報サイト Hint-Pot に3回シリーズで連載された。

Hint-Pot インタビュー 対談シリーズ第5回 「東京大学医学部附属病院医師・藤原清香さんに聞くカナダでの障害」

- ・ 障害について知らないことが多い日本社会…美馬アンナさんがリハビリ科医と対談
- ・ 先天性欠損にリハビリの「リ」はいらない？ 美馬アンナさんも感心「これは深い」
- ・ 日本の子どもたちはなぜ義手を使わないのか？ 東大病院医師が語るその理由

(ウ) その他

- ・ 介護士向けの Web メディア (レバレッジズ株式会社) 『きらッコノート』に、障害のある人たちの社会参加を支援する組織の一つとして当法人の団体紹介が掲載。きらッコノート「身体に障がいを持つ人たちの社会参加を助ける組織」2021/07/14
- ・ 朝日新聞社より、『いろんな おててと ぼく』に関する取材を受けた (掲載日未定)
- ・ PR TIMES の「プレスリリース配信サービス無償提供プロジェクト」へ採用。初回プレスリリースを2021年9月リリース予定。

(3) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業

① イベントを通じたアンケート結果とデータ分析・地方開催の実現

コロナ禍により地方開催はなくなったものの、イベントのオンライン化に伴い、全国からオンラインの教室への参加が可能になり、参加家族間、また講師と子どもたちの交流も広がった。体力テストはオンライン化への対応ができておらず、未実施である。体力や生活習慣についてのアンケートも未実施である。

(4) 小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業

昨年度まで行ってきた貸与事業を今年度も実施し、現在 Shroom7名 Tamtam3名 Hamo5名の手先具貸与を実施している。今年度から筋電義手の貸与を開始し、現在2名の会員に貸し出しを行なっている。(令和3年7月末現在)

(5) その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

① 会員、寄付者、提携サポーターの募集活動

本法人の目的を広く認知していただくために、ハビリス会員、賛助会員、寄附者の募集を行った。第V期はハビリス会員143名、賛助会員15社となった。寄附者は3社(延べ4社)/15名(延べ41名)であった。

② 各法人・団体・個人との連携・協力体制の構築と継続的な情報交換

東京新橋ロータリークラブ、東京大学医学部附属病院リハビリテーション科、東京ガス、職業体験・KCJ GROUP(キッザニアジャパン)、東京大学スポーツ先端科学研究拠点、大泉スワロー体育クラブ、川村義肢、大阪市長居障害者スポーツセンター、NPO 法人 Hand&Foot、先天性四肢障害児父母の会、公益財団法人いしずえ、全日本テコンドー協会パラ委員会、(株)東鋼、(株)今仙技術研究所、(株)田沢製作所、東京大学大学院工学系研究科、中外製薬、福井大学医学部附属病院リハビリテーション科、琉球大学との連携に加え、新たに炫武館のご協力がありパラテコンドー教室を開催している。

③ 「NPO 法人 2 枚目の名刺」主催のサポートプロジェクトとの連携

様々なバックグラウンドをもつ社会人と非営利団体が一つのチームとなって課題解決に取り組む有期サポートプロジェクトに、令和 2 年 7 月から 11 月の 3 カ月間参画した。子どもたちの未来を支える事業をより発展させていくため、現在ハビリスジャパンが抱える課題を共有し、課題解決に向けて一緒に取り組んだ。成果は Mission (果たすべきミッション) Vision (目指すビジョン) Value (価値) の検討、貸与事業の整備、助成金申請、Instagram 開設、イベント開催などであった。現在、このプロジェクトで関わったメンバー全員が新たなメンバーとしてハビリスジャパンに加入した。

④ Mission (果たすべきミッション) / Vision (目指すビジョン) / Value (価値) の策定

Mission (果たすべきミッション)

手や足に障がいなどの特徴のある子どもの成長と活動に“適した”環境を整える

Vision (目指すビジョン)

すべての子どもたちが、自分らしさに誇りを持ち、成長できる社会

Value (価値)

Smile & Joy : 子ども達の笑顔と、ワクワクを大切にします。

Different-ability & Diversity : 多様性を尊重しつつ、Disable(できない状態)を Different-ability(違った方法でできる)にする選択肢を提供します。

Challenge & Possibility : 子どもの”挑戦したい”心を育み、自ら可能性を広げられる機会を提供します。

⑤ 物販の企画

未実施

⑥ その他

(ア) WAM (独立行政法人福祉医療機構) の令和 3 年度社会福祉振興助成事業 (通常助成事業) に申請し、助成金額は 5,768 千円を得ている。

(イ) その他寄附金等について

- ・ クラシエホールディングスより従業員募金「しるしの日募金」として 10 万円 (2021/04/01)
- ・ 情報労連愛の基金より 10 万円 (2020/11/19)
- ・ BGC 証券よりチャリティデーへの寄附金決定。

主な事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
障害のある子ども達の社会参加の支援事業	運動教室 パラテコンドー体験 パラテコンドー教室 パラテコンドー教室 運動教室	令和2年8月8日 令和2年10月10日 令和3年1月23日 令和3年2月20日 令和3年3月27日 令和3年4月24日 令和3年5月22日 令和3年7月3日 令和3年3月21日	第V期は全てオンラインでの開催
リハビリテーション・ハビリテーションの教育・啓蒙事業	[教育セミナー] 講演会:義肢ってなーに? [情報交換会] 家族会 家族交流会 HPとFacebook上での上記イベントの報告書作成と掲載 Instagram 開設	令和2年10月10日 令和2年8月8日 令和3年3月21日 (報告書) 随時 令和2年9月	オンライン オンライン オンライン (報告書) 当法人 HP/Facebook
小児用アクティビティ・日常生活用義肢等の開発・調査研究事業	PAFF イベントでのアンケート 体力や生活習慣についてのアンケート	令和2年8月8日 令和2年10月10日 令和3年1月23日 令和3年2月20日 令和3年3月27日 令和3年4月24日 令和3年5月22日 令和3年7月3日 令和3年3月21日 未実施	第V期は全てオンラインでの開催
小児用アクティビティ・日常生活用義肢等のレンタル事業	TRS 社 Shroom Tumbler/ 今仙義肢 Tamtam・Hamo /Ottobock社の筋電義手の個人への貸与事業	随時	随時

その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所
その他、当法人の目的を達成するために必要な事業	法人のホームページ作成 フライヤー作成・会報発行等による広報活動	随時	法人事務所

2. 重要な契約に関する事項

該当事項なし

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会・社員総会について

実施年月日（全てオンラインで開催した）

令和 2 年 10 月 16 日 第 19 回 理事会

令和 2 年 10 月 30 日 第 11 回 社員総会

令和 2 年 10 月 30 日 第 20 回 理事会

令和 3 年 1 月 9 日 第 21 回 理事会

令和 3 年 2 月 19 日 第 22 回 理事会

令和 3 年 7 月 13 日 第 23 回 理事会

令和 3 年 7 月 30 日 第 12 回 社員総会

(2) 専門部会について

役職	氏名	常勤・非常勤の別	現職
専門部会長	大西謙吾	非常勤	大学教員（工学）

4. 収支及び正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

単位：円

事業年度	令和 3 年 7 月期
正味財産収益合計	8,387,392
正味財産費用合計	5,233,043
正味財産増減額	3,084,349
資産合計	16,731,002
負債合計	106,000
正味財産	16,625,002

III 法人の課題

事業を推進するための事務局運営費や事業継続の為の経費獲得が大きな課題となっている。今後、助成金に依存せずに本法人の維持運営体制が保持できる財政基盤の確立を目指すためには、「事業継続に向けた取組」に注力し、独自事業の立ち上げと収益化が望まれる。また、事業の広域化や支援の充実化、連携・ネットワークの拡大に取り組みつつ、協力者の増加を目指した広報活動や社会啓発を目的とした情報発信を進めていくため、併行して、事務局体制を整えていくことが必要である。

IV 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

なし

第Ⅴ期(令和2年8月1日～令和3年7月31日)事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」が

存在しないので作成しない